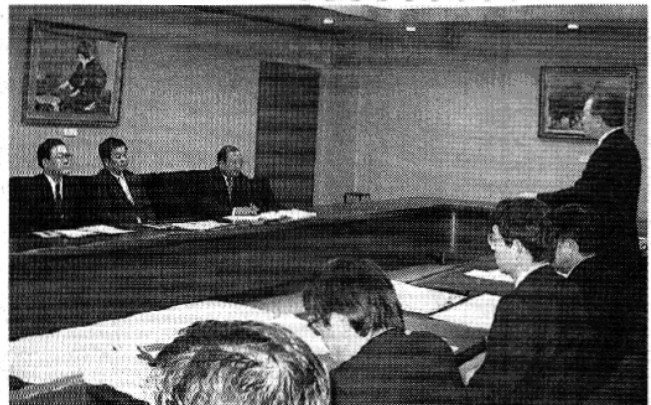


子ども医療費無料化拡大へ

入院は中学卒業まで 所得制限なし、通院は就学前

から
がら
愛知
新年度



神田知事(右端)らから新年度予算案の概要について説明を受ける(左から)木藤俊郎、小島、渡会克明の各県議

通院費は就学前まで、入院費は中学卒業まで無料に。愛知県は、少子化対策の一環として、子どもの医療費の無料化を、新年度から大幅に拡大する。このほど行われた2008年度当初予算重点要求事業の県議会各会派への説明で明らかにした。

それによると、子ども医療費補助金の対象を、現行の入院費、通院費とも4歳未満から、通院は就学前まで、入院は中学卒業までそれぞれ拡充する。同県の場合、この補助金については所得制限を設けず、自己負担額もゼロとなっている。

同県の調べによると、昨年4月1日現在、全国都道府県の中で、入・通院とも小学3年まで助成しているのは2県、7歳未満までが1県で、就学前までは合計23県。また入院のみ中学卒業まで助成しているのは1県となっている。同県は、今回対象拡大で全国トップレベルの水準となる。

子どもの医療費の無料化については、子育て支援の充実に積極的に取り組む公明党県議団がこれまで毎年度の予算要望を提出してきた。また党愛知県本部女性局も県知事に対し、対象年齢の引き上げを粘り強く要望してきた。

これを受けて神田真秋知事は昨年2月の県知事選で選挙公約として掲げたマニフェストの中に、同医療費の無料化を08年度から大幅に拡大することを盛り込み、実現を約束していた。

このほど県執行部から新年度予算案の概要について説明を受けた県議団の小島文幸団長らは「県が補助金の対象を拡大することによって、各市町村でも子どもの医療費の無料化が大きく前進していく」と期待を寄せている。